

KODAK Gray Scale

C Y M

Kodak
LICENSED PRODUCT

春水補綴 圖魚田圖

補綴新

五編

板元毒鏡

13
3086
3



9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30



烏永春水綴

外題曲及圖

喜雀堂梓

上

特
へ13
3086
3



扇の的の智を摸て
 下の文中の一助とぞ

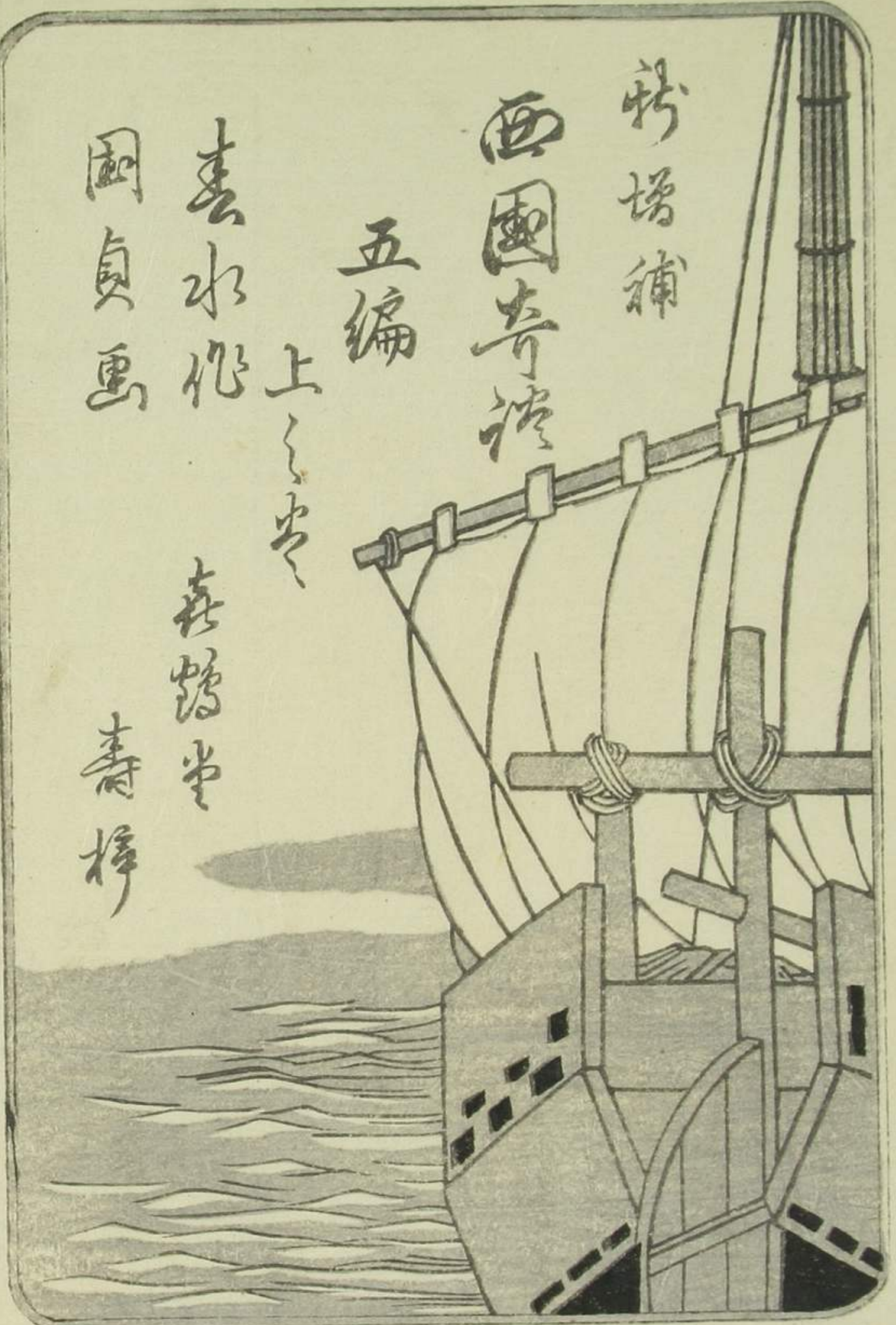
西海道十箇州へ
 總て海岸ありぬ稀あり余名所
 旧跡も多し海辺ありぬら今這
 西国奇談を綴る強小勝地をのこり
 その名所奇りゆども文中目と海小
 臨み画も随つて水辺の赴きよの押
 うつる思安未の及ぬ故あらら
 硯の海も浪立ませふ

世話き机ふ

那須与市
 宗高

三

西国奇談五



新塔補
 西国奇談
 五編
 上く出
 春水作
 在鶴半
 壽梓
 國貞画





丁かて前々

前後二員の肖像ハ
次編の腹稿を圖せ

素崎
妙意軒

採る筆の拙き作も水
せり尚高覽をまらへ
其夕時を外さど
書房も發市城
急ぐんのも

戊午早春
爲永
春水記

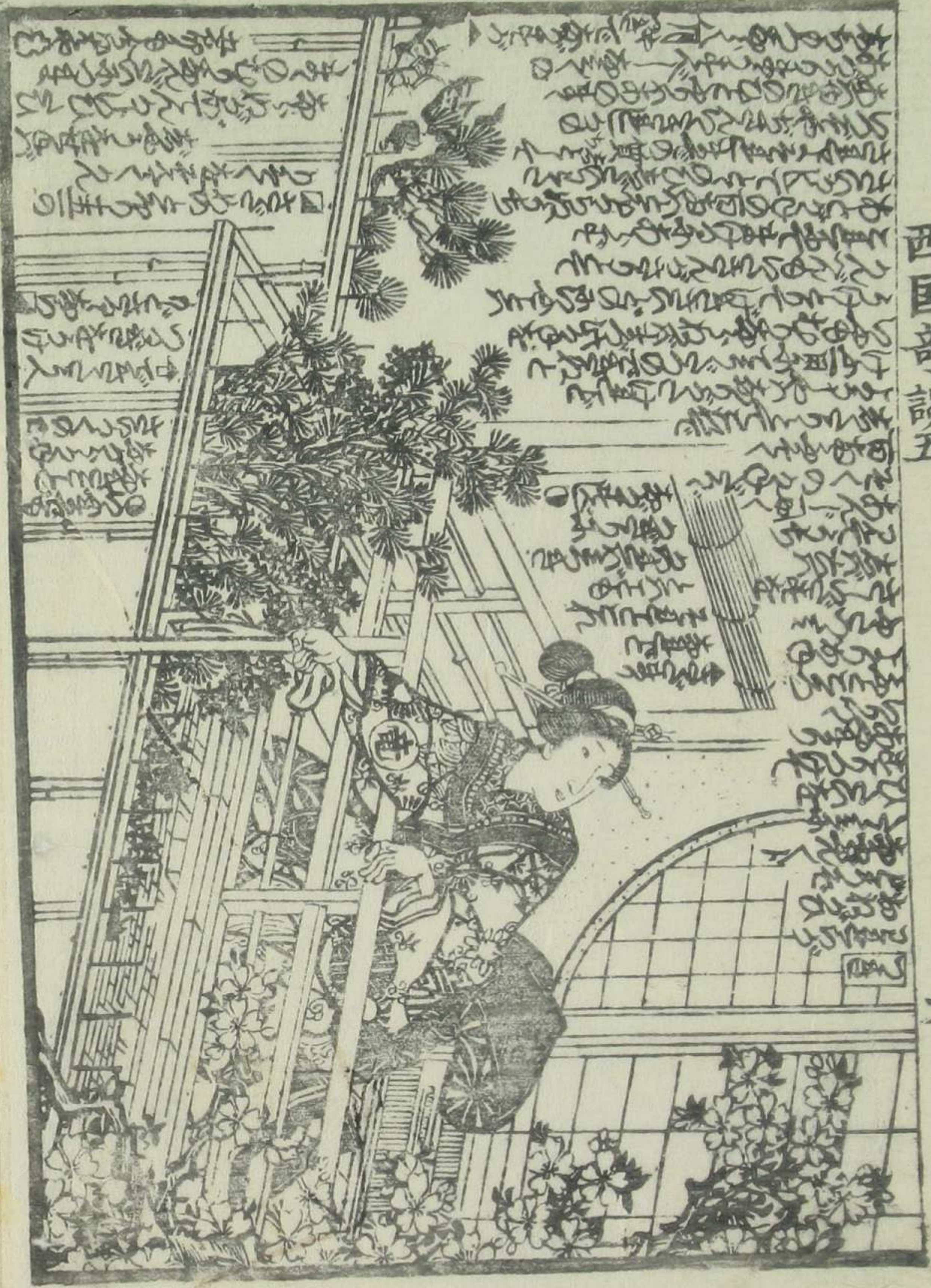


那須
次郎
宗重













國貞画

西國奇談五
 國貞画
 春水作
 十編(工面)次(好)計(と)鳴(り)く(は)重(重)桐(桐)及(及)伏(伏)さ(さ)ん(と)と(と)可(可)杉(杉)忠(忠)義(義)の
 り(り)の(の)ろ(ろ)ろ(ろ)工(工)面(面)次(次)口(口)管(管)婚(婚)と(と)促(促)反(反)く(く)方(方)便(便)の(の)裏(裏)と(と)か(か)れ(れ)暗(暗)小(小)醜(醜)婦(婦)を
 娶(娶)る(る)の(の)一(一)段(段)話(話)説(説)か(か)つ(つ)向(向)童(童)多(多)し(し)め(め)て(て)残(残)毒(毒)と(と)こ(こ)給(給)む(む)の(の)一(一)端(端)十(十)編(編)の
 不(不)童(童)浴(浴)室(室)と(と)虚(虚)井(井)の(の)守(守)袋(袋)と(と)る(る)ろ(ろ)ろ(ろ)の(の)お(お)か(か)け(け)雙(雙)言(言)更(更)と(と)か(か)や
 反(反)向(向)苦(苦)郊(郊)の(の)計(計)あ(あ)ら(ら)か(か)の(の)秋(秋)風(風)を(を)敷(敷)く(く)の(の)二(二)段(段)譚(譚)で(で)最(最)巧(巧)み(み)ぬ(ぬ)り
 十(十)二(二)編(編)秋(秋)風(風)虚(虚)井(井)毒(毒)手(手)小(小)ら(ら)ろ(ろ)ろ(ろ)て(て)終(終)り(り)非(非)命(命)死(死)す(す)る(る)り(り)殺(殺)生(生)石(石)の
 一(一)奇(奇)談(談)の(の)い(い)く(く)龍(龍)太(太)郎(郎)の(の)傳(傳)ふ(ふ)い(い)ろ(ろ)ん(ん)此(此)同(同)お(お)工(工)面(面)次(次)八(八)重(重)桐(桐)ら(ら)ろ(ろ)ん
 一(一)奇(奇)談(談)の(の)い(い)く(く)龍(龍)太(太)郎(郎)の(の)傳(傳)ふ(ふ)い(い)ろ(ろ)ん(ん)此(此)同(同)お(お)工(工)面(面)次(次)八(八)重(重)桐(桐)ら(ら)ろ(ろ)ん
 一(一)奇(奇)談(談)の(の)い(い)く(く)龍(龍)太(太)郎(郎)の(の)傳(傳)ふ(ふ)い(い)ろ(ろ)ん(ん)此(此)同(同)お(お)工(工)面(面)次(次)八(八)重(重)桐(桐)ら(ら)ろ(ろ)ん



西國

奇談

春水補綴

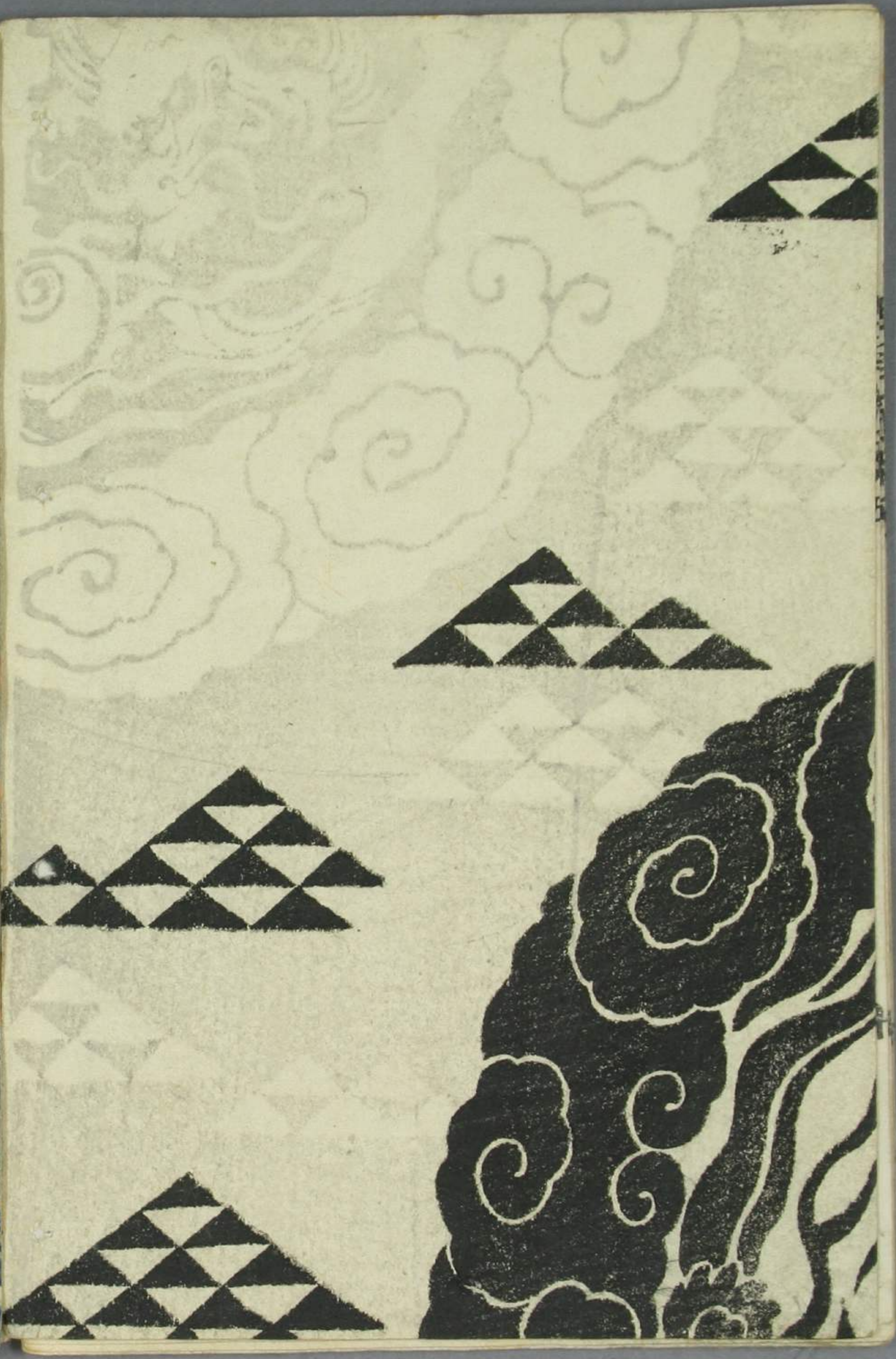
國貞画

根源實紫新刻概畧

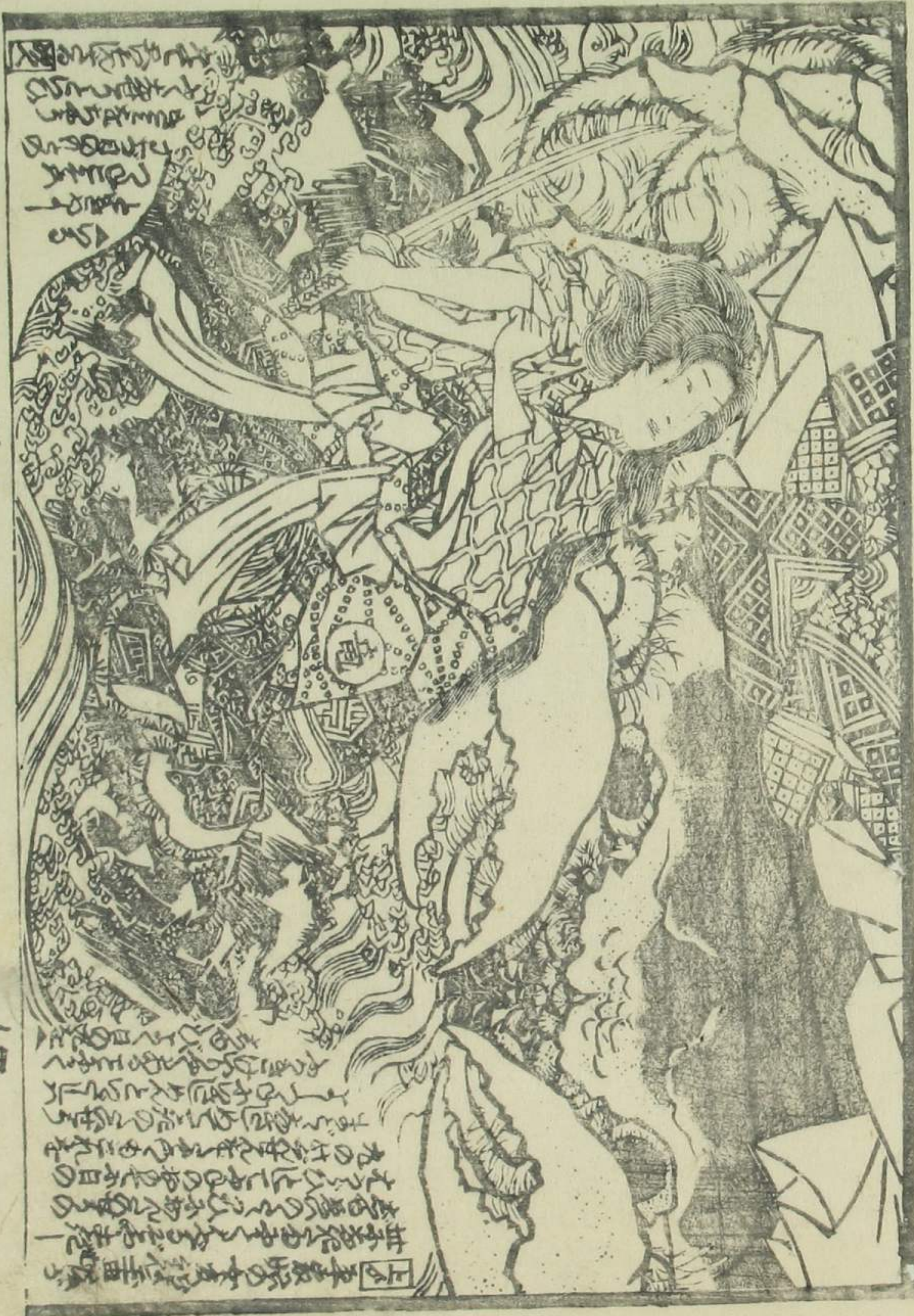
作者 柳亭種彦

十三編 惟規の北海の危難鳴高他を謀て自かつ天の網船按手兒釣出す花園
 の遊宴小式部が画賛へ呪詛の種村心の火性小浮氣の水性小者妙術と醜婦忽ち
 美人と化す十四編 小鮮の食嗜あつて水即吟これ八幡の宇佐良宣奉宰府のかり疾
 夢のちりる幻の譚小始り現のちりる夢中の奇邊の半はて十五編 筑紫の夢覚て松の
 信濃で灌ぐ袖の淺代管絃講香炉節み死に宿留本みかち散わると悲は式部亮の談は格。

歌川國貞畫

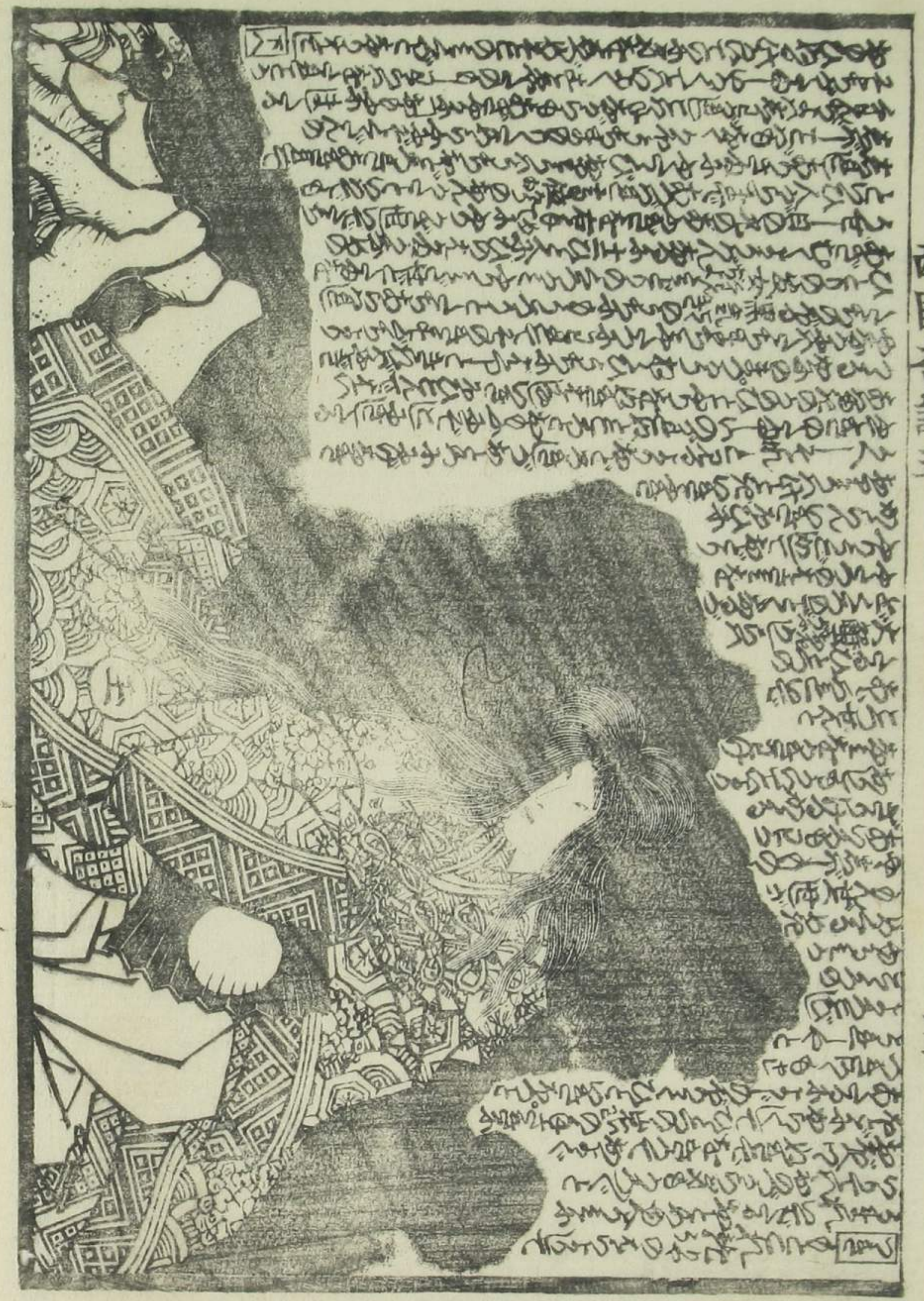






西國奇談
 卷之五
 西國奇談
 卷之五

西國奇談
 卷之五
 西國奇談
 卷之五

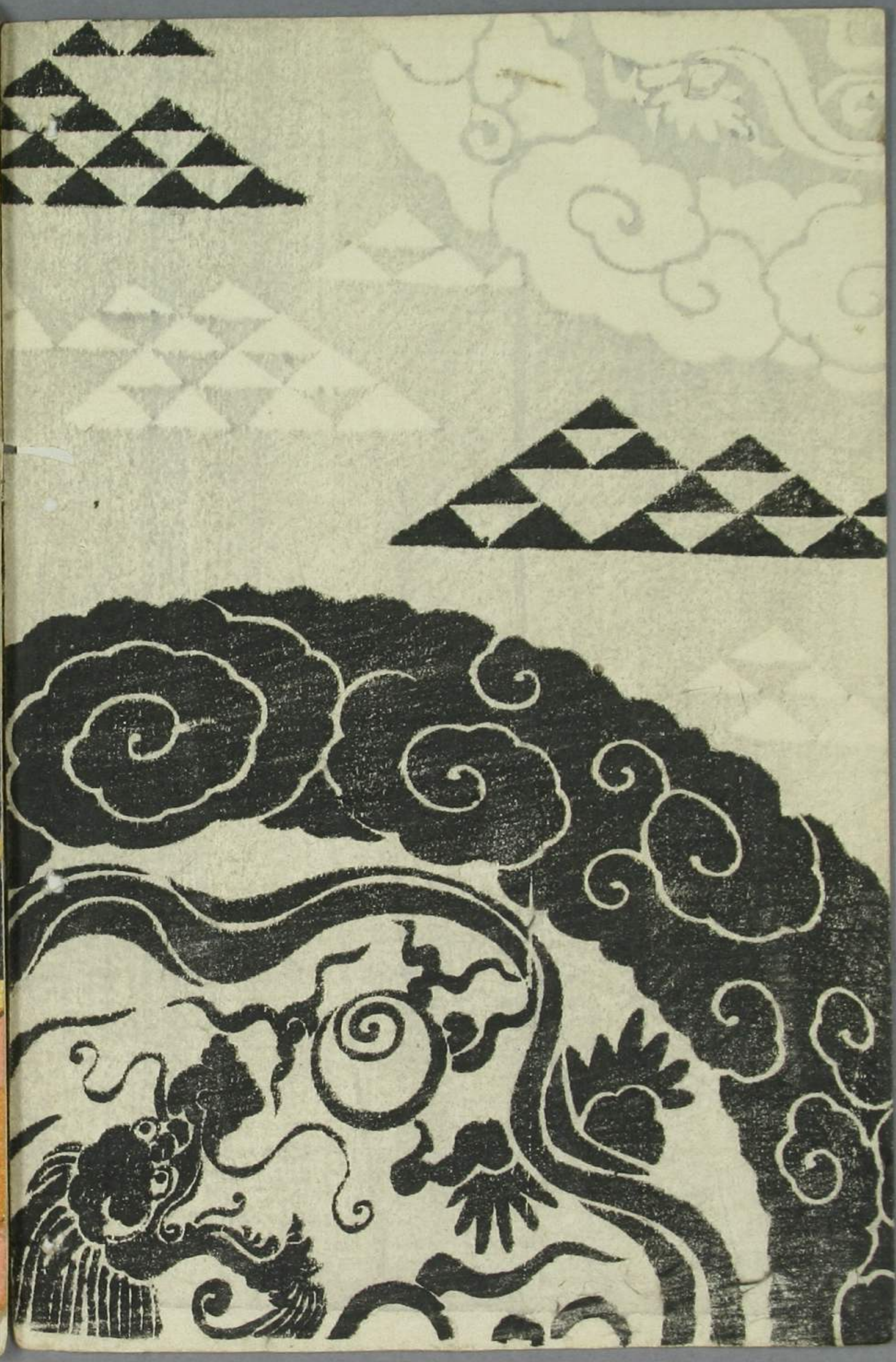


西國奇談
 卷之五
 西國奇談
 卷之五

西國奇談
 卷之五
 西國奇談
 卷之五







新増箱

西國奇蹟

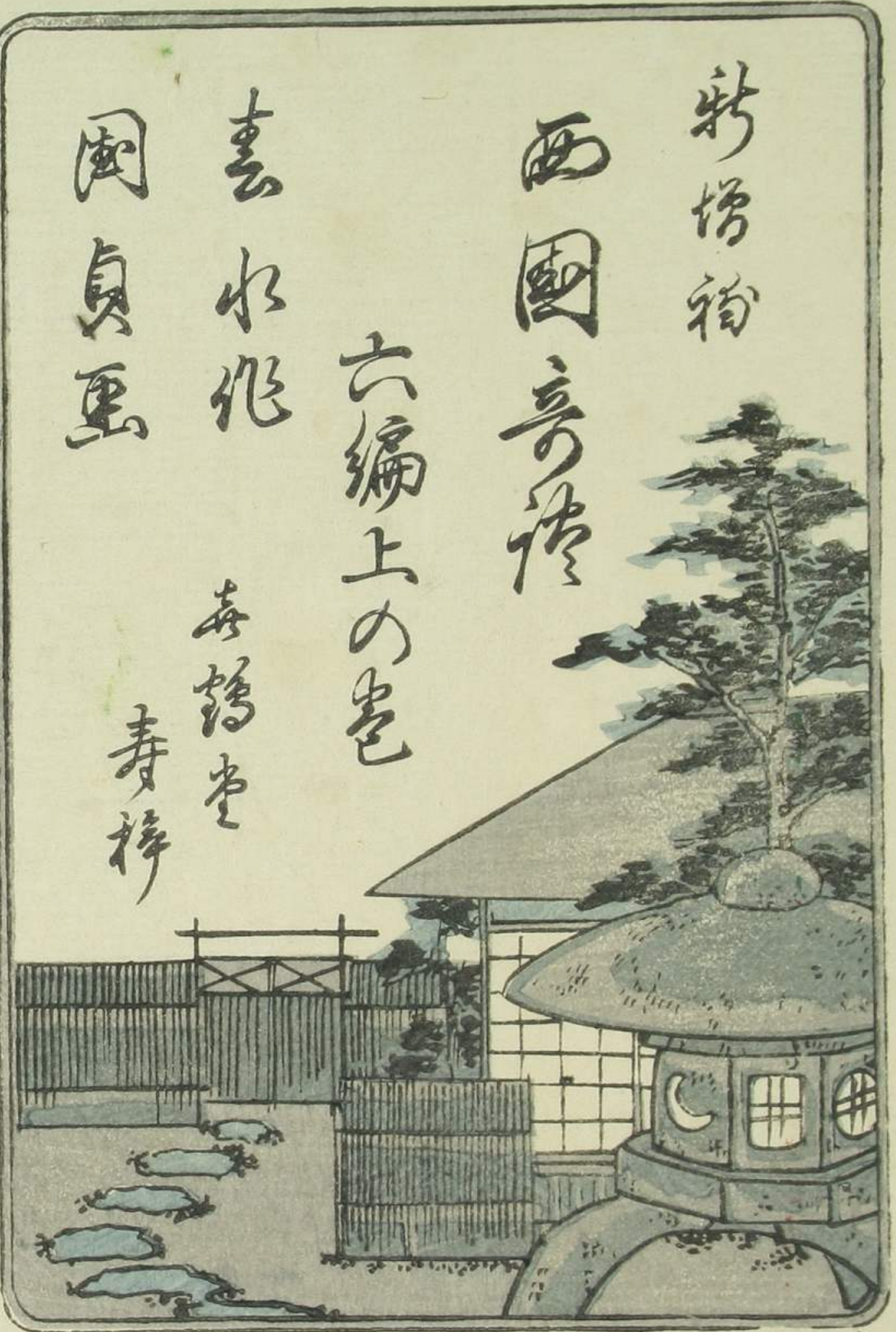
六編上の巻

春水作

春鶴堂

國貞画

春鶴



春水補綴六編全三冊

新増補

西國奇蹟



國貞画圖 板元春鶴堂

夫忠孝の道の大本大綱人間に生ずるもの基その心を定むるに介するも
 自己の思慮分別よりその據を取違ゆるゆゑ孝ふ似たる不孝
 あり。忠ふ似たる不忠あり。今本編に出るところの東田ありび小
 妖齋がと死。似而非忠孝といふもの然あはとも柴六親子が奸悪
 不道無比きと云ふ又益うもなりぬ。唯龍太郎が至忠至孝賞さふ
 猶餘りあり。是ふ仍てとて思ふふ。総て世間普通の俗徳の
 作者のいふるまで。善やのほろむ。悪やのほろむ。餘をわさる瓢箪の
 ぬらりと世を経るもの多し。伏望らく起居進退の一事も善を
 做んと念ひ。一事も悪を退けんと日夜心ふ忘るる。終ふ真の龍
 太郎ふあらざる事よあはぬは。何と兒童も合点するらん。

安政五稔午早春吉辰 烏永春水記也

西国奇談二



木村 龍太郎



宗重の奥女
阿龍の方



宗重の二室町

上の子婿同苗
時次行

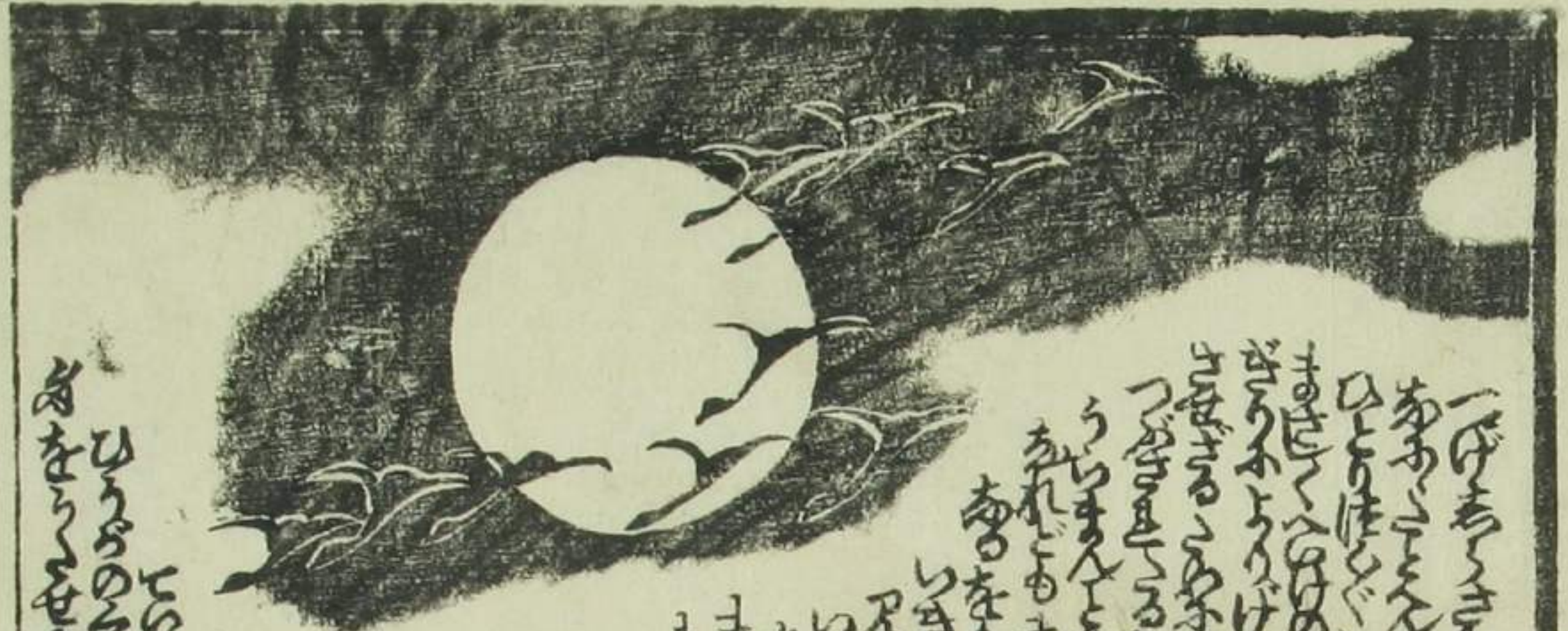
那須の愛野分



上愚太夫
鈍方

Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a historical document or a list of names and titles. The text is arranged in several columns, with some lines starting with a large initial character.

Handwritten text in a cursive script, continuing the transcription from the top page. It includes several lines of text, some of which are enclosed in small rectangular boxes.



Handwritten text in a cursive script, located in the middle section of the page. The text is organized into columns and includes various characters and symbols.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the page. The text continues the transcription and includes several lines of characters.



鳥の鳴き声は
 空を渡る
 雲の影を
 水面に映す
 舟の音は
 波の間に
 響き渡る
 遠くから
 舟の音は
 聞こえる
 舟の音は
 波の間に
 響き渡る
 遠くから
 舟の音は
 聞こえる

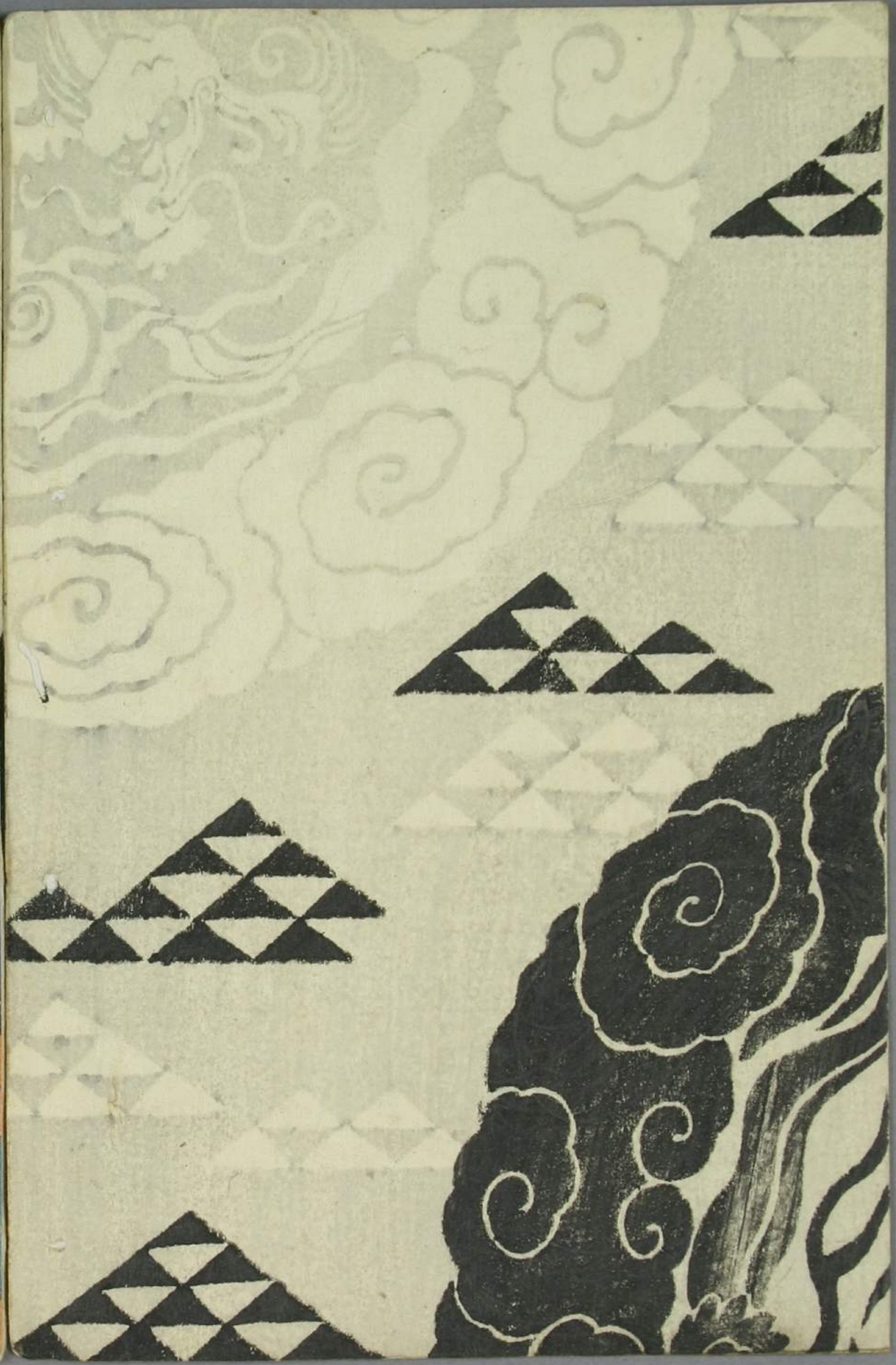
舟の音は
 波の間に
 響き渡る
 遠くから
 舟の音は
 聞こえる
 舟の音は
 波の間に
 響き渡る
 遠くから
 舟の音は
 聞こえる



舟の音は
 波の間に
 響き渡る
 遠くから
 舟の音は
 聞こえる
 舟の音は
 波の間に
 響き渡る
 遠くから
 舟の音は
 聞こえる

舟の音は
 波の間に
 響き渡る
 遠くから
 舟の音は
 聞こえる
 舟の音は
 波の間に
 響き渡る
 遠くから
 舟の音は
 聞こえる





Handwritten text in vertical columns, likely a preface or introductory text.



Handwritten text in vertical columns, likely a continuation of the text or a commentary.

新増補

西金奇珍 六編

喜鶴堂梓

下ノ巻

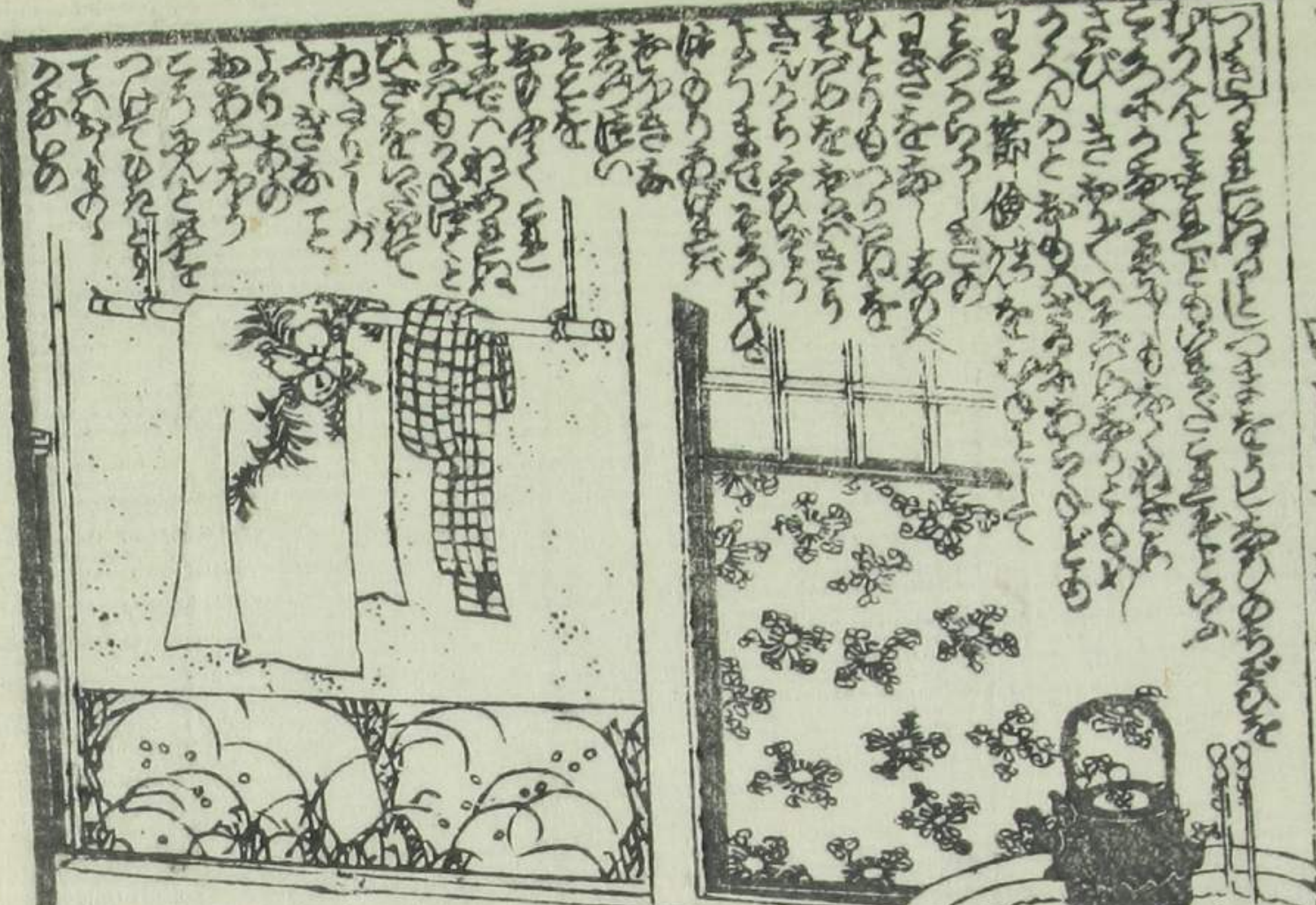


Handwritten text in the top left corner of the left page, likely a title or introductory text.



Handwritten text in the bottom left corner of the left page, continuing the narrative or providing commentary.

Vertical text on the far left edge of the left page.



Vertical text on the right edge of the top illustration on the right page.

Small vertical text on the right edge of the bottom illustration on the right page.

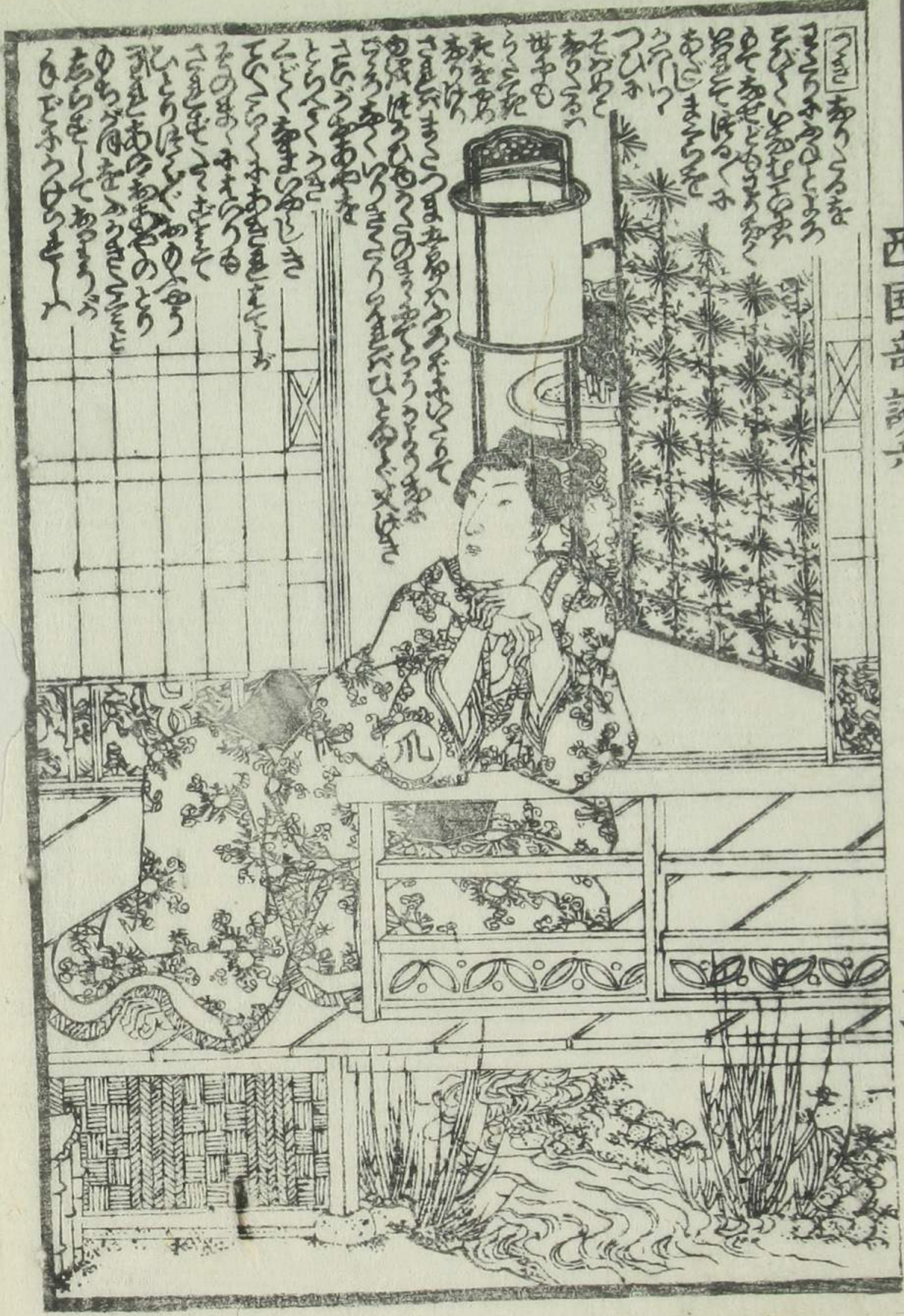
Handwritten text in the top right corner of the right page, likely a title or introductory text.

Handwritten text in the bottom right corner of the right page, continuing the narrative or providing commentary.



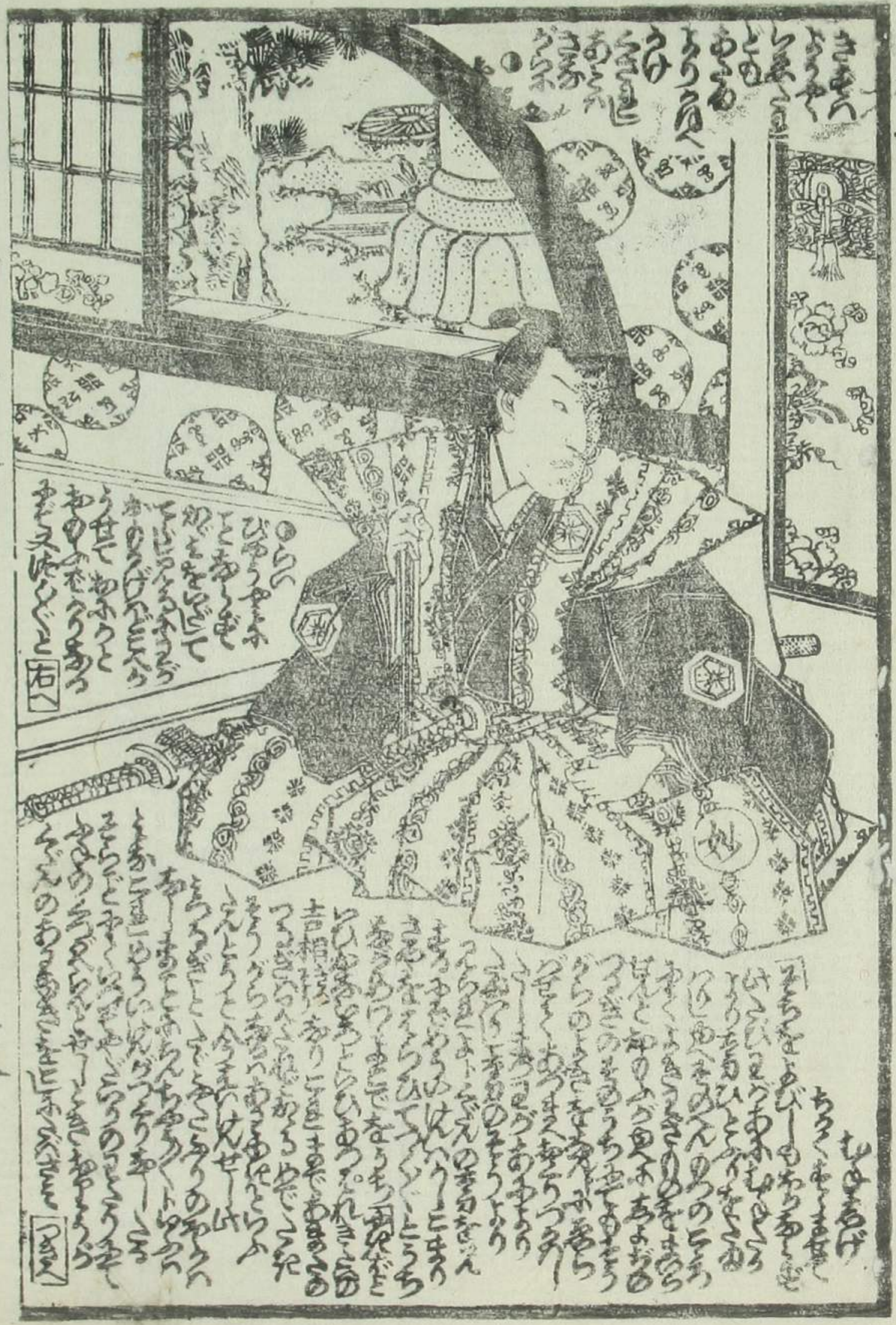
西国奇談六

十三



西国奇談六

十三



ついでに... 西国奇談の一場面を描写する文章。登場人物の行動や心理を詳しく記述している。



西の... 右側の挿絵に続く文章。物語の進行や登場人物の心情をさらに詳しく説明している。

ついでに... 左側の挿絵に続く文章。物語の背景や登場人物の経緯を説明している。



西の... 左側の挿絵に続く文章。物語の進行や登場人物の心情をさらに詳しく説明している。

